

2017.5.1

事務局ニュース

Hanno.gakudou@ace.ocn.ne.jp

飯能市学童クラブの会 事務局発行
042-972-8490
飯能市双柳 353-172

昨年1年間、事務局ニュースの発行ができないで過ぎてしまいました。反省を踏まえて今年度から中身をリニューアルして情報をお伝えしていきたいと思っています。
クラブの会としては5月21日の総会をもって新年度となりますが、4月から新一年生も入所し、新しいスタートを一緒に迎えたく4月から再開したいと思います。

<飯能市学童クラブの会へようこそ>

29年度は102名の新入所児を迎えてスタートしました。6学童で403名の子どもたちが元気な学童っ子です。

クラブの会の正規・パート職員合わせて50名です。

通常は放課後から、学校休業日には7時半から子どもたちと共に学童で生活をしています。

それぞれ個性がある指導員や子どもたちが日々生活をする中では、たくさんのぶつかりやたくさんの嬉しいこと楽しい出来事が繰り広げられています。指導員はそれらの出来事をお迎えの時や保護者会でお伝えしたり、お便りに綴っています。ぜひ子どもたちの「大人の知らない世界」を知っていただき、一緒に楽しんでいただきたいと思います。もちろん楽しいことだけではなく、保護者の方もしんどさや子育ての悩みを抱えていることと思います。そんな時も指導員や先輩保護者の方とお話することで気分が楽になり、明日への活力になることもあると思います。初めの一步を踏み出してぜひ学童の行事に子どもたちと一緒に参加してみてください。

子どものための学童保育ではなく、保護者にも「あって良かった学童保育」と思っていただけのように職員一同頑張っていますので、よろしくお願ひします。



<分割問題> 今年度一番の取り組み

3月に入所書類を集め、出た結果が双柳だけの子クラブが99名、飯一小あおぞらクラブが76名と施設に入りきれないほどの入所申し込みがありました。クラブの会は民営(保護者会委託)なので待機児童は出していない。とにかく必要な家庭があれば受け入れるのが通常です。しかし、行政が建てた建物には限界があります。あおぞらクラブは40名分のロッカーしかなく、70名超の児童を受け入れることには頭を悩ませていました。もちろん行政や学校とも話し合いを重ねてきましたが、4月の受け入れまでには問題解決にはならず、結果あおぞらに入所予定の児童8名をどろんこクラブに異動してもらうことになりました。

双柳も一つの建物に100名近い子どもたちを受け入れなくてはならない状態は尋常ではないといって、こちらも行政との話し合いを重ねてきましたが、4月の開所には間に合わず、現在、市議さんにも中に入ってください、行政や学校との話し合いを重ねている最中です。

今後、色々超えなくてはならない問題はありますが、子どもたちの生活の場を確保するために保護者の方にもご協力していただくことがあると思います。

まずは、今いる子どもたちの生活の場を確保することを考えて進めていきたいと思います。



<日本の学童ほいく> 学童保育唯一の専門誌です

子どもたちをお迎えに行くと、名前が書かれているポケット（お便りホルダー）がありますよね。そのポケットに学童の事がたくさん書かれている冊子が月に1回入っています。その冊子が通称「学童ほいく誌」です。全国の学童関係者による手作りの冊子で、指導員はもとより、全国の保護者の投稿なども記載されています。毎月愛読していただいているという声も聞かれます。

子どもたち同士がどのように学童でかかわりあっているか、指導員はどのように子どもたちとかかわりあって関係をつなげているか、保護者がどのようにして学童の役員や行事と向き合っているか等、たくさんの記事（声）が載っています。せっかく学童とかかわりあっていくのですから、情報として気に留めて読んでいただくと嬉しいです。

因みに、5月号の特集は「たしかめあおう 学童保育指導員の仕事」です。

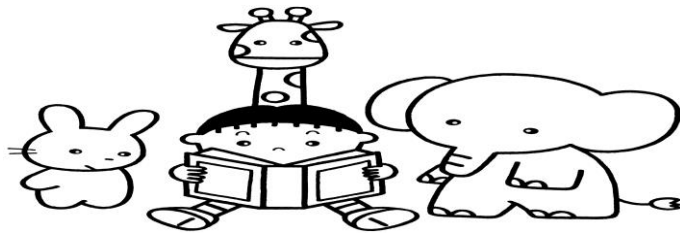
P18には埼玉県東松山市の指導員の保育実践が載っています。子どもの悩みに寄り添いかかわりを深めていくための葛藤や、保護者とかかわりを作り支えあえる関係を築き上げることの意味等、実際の保育の中から感じた内容になっています。

ぜひたくさんの方に読んでいただき、保護者会や指導員との話に使っていただきたいと思います。

全国学童保育連絡協議会ではほいく誌のモニターさんも募集しています。毎月読んで感想をファックスまたは郵送していただければ図書券がもらえるとのことです。ぜひ応募してください。

来月6月号の特集は「つながる笑顔 父母会」です。

お楽しみにお待ちください。



<5月21日（日）はクラブの会総会です> 14時から市民会館2階

各学童の総会も終わり、新年度が始まりましたが、飯能市学童クラブの会は5月21日の総会が起点となります。2016年度のまとめや報告、2017年度の方針等の内容が話し合われます。

近日中に議案書（総会の内容の冊子）と、出欠確認書が配布されます。議題内容等をご確認していただき出欠の届を提出してください。

手作り満載の議案書の中には、実は盛り沢山の資料が添付されています。補助金額や市への要望書、回答書、定款や規定、少しでも興味を持っていただきたいのが年表です。だいぶ前からの年表になりますが、近々の国や県の動き、クラブの会内の動きも実は毎年更新しています。

誰も何もしなければ、学童保育の進展はありません。学童関係者が毎年いろんな取り組みをし、少しずつ内容が改善され、補助金が充実してきました。少しでもご理解を頂き、小さいことの積み重ねに今があることを少し感じていただければありがたいです。

21日の翌週の27日（土）は埼玉県学童保育連絡協（以下、県連協）議会の総会があります。

飯能市学童クラブの会も会員になっているので、運営委員や代表委員に理事が参加しています。県連協の活動は追ってお伝えしていきたいと思えます。

因みに、ほいく誌に「学童保育に関わる用語Q&A」というのが載っています。

5月号はP77「条例」「省令」から始まりP80「放課後児童支援員」までです。

